

## 会派政務調査活動（行政視察）報告書 （総括）

会 派 名	地域住民の会
会派の代表者名	小笠原 昌彦 (印)
視察（調査）期日	令和元年7月2日(火)～7月4日(木)
視察（調査）先	静岡県富士市、焼津市、三島市
視察（調査）の目的 （大仙市の現状と 選定理由等）	1. 富士市の富士工業技術支援センターの「県内企業 の技術開発や課題解決の支援」について 2. 焼津市行政視察 公共施設マネジメント推進事業について 3. 三島市行政視察 スマートエリカスめしむの取組みについて
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への 参加議員名	小笠原 昌彦
視察（調査）概要	1. 富士工業技術支援センターは、成長分野への参入と 職場ニーズに対応した技術支援を推進しており、 地元企業に大規模投資を果している。 研究開発にもめづくりとめづかいによる新しい産業の 創出と集積を実現するため、新たな分野に挑戦して おり、地域の特徴である製紙産業の発展のため、 リサイクル技術の高度化や新たな需要分野の开拓 等を支援している。

<p>視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について</p>	<p>α. 焼津市の公共施設マネジメントへの取り組みについて 安心、安全を確保するために、公共施設全体のサービスを最適化に向けたマネジメントを推進していた。 市役所の上に、マンションを造ったり、学校を利用して集約化・複合化の再編には本県としても学ぶところがあると思った。</p>
<p>その他 (会派としての総括的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>β スマートウェルネスおしほの推進事業は、三島市長の熱い「健康」に対する取り組みに感銘した。 健康都市づくり、おやかであわせ等地域の活性化を図る目的ですが、これ以上の効はない。 すべての企画がユニークで市民が自然に参加できるところが本県にも今後必要。 健康寿命の延伸、幸福度の向上、地域経済の活性化 通んでいだけで、電通しているだけで健康を革せいられる街をのぞこうというつもりだ。</p>

# 令和元年度 大仙市議会会派「新政会・市民クラブ・創生会・地域住民の会」行政視察 行程表

## 令和元年7月2日（火）＝第1日目

こまち10号  
 大曲駅 7:48 東京駅・昼食 11:04 12:26  
 こだま655号  
 マイクロバス  
 新富士駅 13:24 13:30  
 富士市「富士工業技術支援センター」見学 14:00  
 「県内企業の技術開発や課題解決の支援」について 15:20  
 富士工業技術支援センター ☎0545-35-5190  
 富士山本宮浅間神社 15:40 16:20  
 焼津市内ホテル 17:20

## 令和元年7月3日（水）＝第2日目

マイクロバス  
 ホテル 9:30 焼津市行政視察 10:00 11:30  
 「公共施設マネジメント推進事業」について  
 焼津市議会事務局 ☎054-662-0530（※会場「焼津公民館」）  
 ロープウェイ  
 日本平展望回廊 ～～ 久能山東照宮 15:00 15:30  
 東海大学海洋科学館 17:00  
 沼津市内ホテル 18:10

## 令和元年7月4日（木）＝第3日目

マイクロバス  
 ホテル 9:20 三島市行政視察 10:00 11:30  
 「スマートウエルネスみしま」について  
 三島市議会事務局 ☎055-983-2600  
 ひかり466号  
 三島駅 13:20 13:56  
 東京駅 14:40 15:20  
 こまち27号  
 大曲駅 18:32